

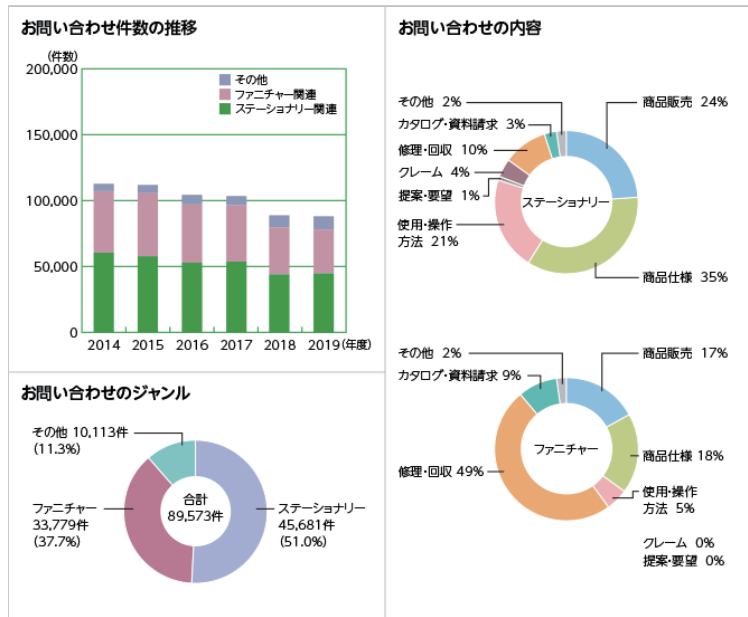
～データ編～

# 社会

報告対象期間

該当年の1/1～12/31（実績は12/31現在の数字）

## お客様の声の反映



## 従業員の構成（役職別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
役員数取締役数（人）	社内	単体	5	5	5	5	4
	社外	単体	3	3	3	4	3
	計	単体	8	8	8	9	7
監査役数（人）	社内	単体	2	2	0	0	0
	社外	単体	2	2	3	3	3
	計	単体	4	4	3	3	3
従業員数（人）	男性	単体	1,501	1,509	1,514	1,498	1,631
	女性	単体	486	490	500	521	583
	計	単体	1,987	1,999	2,014	2,019	2,214

## 従業員の構成（男女別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
従業員数（コクヨグループ）（人）	男性	連結	4,877	4,811	4,864	4,865	4,946
	女性	連結	1,791	1,785	1,835	1,919	2,015
	計	連結	<b>6,668</b>	<b>6,596</b>	<b>6,699</b>	<b>6,784</b>	<b>6,961</b>

## 従業員の構成（雇用契約別×男女別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
従業員数（コクヨグループ）計（人）		連結	6,668	6,596	6,699	6,784	6,961
従業員数（非正社員）（人）		連結	2,232	2,244	3,399	1,854	1,832
従業員非正社員比率（%）		連結	25.07	25.38	33.66	21.46	20.83
正社員（人）	男性	主要5社	—	—	2,565	2,499	2,494
	女性	主要5社	—	—	732	780	829
	計	主要5社	—	—	<b>3,297</b>	<b>3,279</b>	<b>3,323</b>
シニア社員（人）	男性	主要5社	—	—	201	248	253
	女性	主要5社	—	—	4	7	10
	計	主要5社	—	—	<b>205</b>	<b>255</b>	<b>263</b>
契約社員（人）	男性	主要5社	—	—	145	159	135
	女性	主要5社	—	—	97	91	95
	計	主要5社	—	—	<b>242</b>	<b>250</b>	<b>230</b>
パート/アルバイト（人）	男性	主要5社	—	—	124	112	111
	女性	主要5社	—	—	159	170	163
	計	主要5社	—	—	<b>283</b>	<b>282</b>	<b>274</b>
派遣社員（人）	男性	主要5社	—	—	167	169	186
	女性	主要5社	—	—	316	340	347
	計	主要5社	—	—	<b>483</b>	<b>509</b>	<b>533</b>

## 従業員の構成（雇用契約別×地域別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
正社員（人）	国内	連結	—	—	3,982	3,991	4,090
	国外	連結	—	—	2,045	2,443	2,475
	計	連結	—	—	<b>6,027</b>	<b>6,434</b>	<b>6,565</b>
シニア社員（人）	国内	連結	—	—	238	284	300
	国外	連結	—	—	8	3	4
	計	連結	—	—	<b>246</b>	<b>287</b>	<b>304</b>
契約社員（人）	国内	連結	—	—	514	573	594
	国外	連結	—	—	115	59	45
	計	連結	—	—	<b>629</b>	<b>632</b>	<b>639</b>
パート/アルバイト（人）	国内	連結	—	—	606	602	584
	国外	連結	—	—	1,713	23	37
	計	連結	—	—	<b>2,319</b>	<b>625</b>	<b>621</b>
派遣社員（人）	国内	連結	—	—	550	578	589
	国外	連結	—	—	0	1,642	1,401
	計	連結	—	—	<b>550</b>	<b>2,220</b>	<b>1,990</b>

## 従業員の構成（世代別）・平均年齢・平均勤続年数

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
従業員数（世代別）（人）	30歳未満	主要5社	280	288	318	376	423
	30代	主要5社	676	654	619	605	579
	40代	主要5社	1,550	1,524	1,443	1,326	1,233
	50代	主要5社	800	826	917	971	1086
	60代以上	主要5社	148	182	205	256	265
平均年齢（才）	男性	主要5社	45.46	45.87	46.15	46.35	46.57
	女性	主要5社	38.35	38.82	39.24	39.36	39.33
	平均	主要5社	<b>44.02</b>	<b>44.42</b>	<b>44.7</b>	<b>44.8</b>	<b>44.87</b>
平均勤続年数（年）	男性	主要5社	19.74	20.12	20.31	20.52	20.7
	女性	主要5社	13.96	14.32	14.52	14.3	14.06
	平均	主要5社	<b>18.57</b>	<b>18.93</b>	<b>19.09</b>	<b>19.14</b>	<b>19.14</b>

## 従業員の構成（国籍別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
従業員数（人）	コクヨグループ・外国人	主要5社	17	16	13	12	12
	コクヨ単体・外国人	単体	16	15	12	12	12

## 従業員の構成（障害者数）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
障害者雇用数（人）		グループ適用実施会社	107	106	106	122	128
障害者雇用率（％）		グループ適用実施会社	2.1	2.11	2.03	2.26	2.31

## 雇用実績

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
採用社員数（新卒）（人）	男性	主要5社	35	40	42	47	33
	女性	主要5社	26	18	30	28	37
	計	主要5社	61	58	72	75	70
採用社員数（中途）（人）	男性	主要5社	13	24	28	27	32
	女性	主要5社	5	13	12	22	21
	計	主要5社	18	37	40	49	53
離職率計（％）	男性	主要5社	1.38	1.15	1.43	2.38	1.60
	女性	主要5社	3.87	2.16	3.11	2.73	2.95
	計	主要5社	1.89	1.36	1.79	2.46	1.92

## 登用状況（男女別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
役職登用状況（人）	役員以上	男性	主要5社	20	23	21	20	20
		女性	主要5社	2	1	0	0	1
	部長	男性	主要5社	122	122	82	62	63
		女性	主要5社	3	3	3	3	4
	課長	男性	主要5社	733	723	742	747	750
		女性	主要5社	33	38	43	48	54
	係長	男性	主要5社	1,083	1,100	1,024	1,112	1,118
		女性	主要5社	182	206	229	254	273
		計	主要5社	2,178	2,216	2,144	2,246	2,283

## 登用状況（女性比率）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
女性の管理職比率（部長、課長）（%）		主要5社	4.04	4.63	5.29	5.93	6.66
役職登用状況（女性比率）（%）	役員以上	主要5社	9.09	4.17	0.00	0.00	4.76
	部長	主要5社	2.40	2.40	3.53	4.62	5.97
	課長	主要5社	4.31	4.99	5.48	6.04	6.72
	係長	主要5社	14.39	15.77	18.28	18.59	19.63
		<b>計</b>	<b>10.10</b>	<b>11.19</b>	<b>12.83</b>	<b>13.58</b>	<b>14.54</b>

## 登用状況（外国人数）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
役職登用状況（外国人）（人）	役員以上	主要5社	0	0	0	0	0
	部長	主要5社	0	0	0	0	0
	課長	主要5社	2	1	2	2	3
	係長	主要5社	4	6	5	7	7
		<b>計</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>10</b>

## 登用状況（外国人比率）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
役職登用状況（外国人比率）（%）	役員以上	主要5社	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	部長	主要5社	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	課長	主要5社	0.26	0.13	0.25	0.25	0.37
	係長	主要5社	0.32	0.46	0.40	0.51	0.50
		<b>計</b>	<b>0.28</b>	<b>0.32</b>	<b>0.33</b>	<b>0.4</b>	<b>0.44</b>

## 労働時間・有給取得者数

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
総実労働時間（年）		主要5社	—	2134.8	2129.8	2089.1	2053.1
所定外労働時間（年）		主要5社	—	307.2	298.7	274.9	253.7
長時間労働者数（年間残業時間360h超）（%）		主要5社	—	31.3	23	28.7	21.3
有給休暇の取得率（%）		主要5社	46.28	48.20	48.00	53.69	61.40
従業員1人あたりの年間教育訓練費（円）		主要5社	35,570	41,914	38,297	37,156	37,408

## 育児休暇取得者数（男女別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
育児休業取得者数（人）	男性	主要5社	0	4	4	4	6
	女性	主要5社	80	83	68	52	60
	計	主要5社	<b>80</b>	<b>87</b>	<b>72</b>	<b>56</b>	<b>66</b>

## 介護休暇取得者数（男女別）

		対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
介護休業取得者数（人）	男性	主要5社	1	1	0	0	3
	女性	主要5社	0	1	1	2	1
	計	主要5社	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>

## 健康管理

	対象	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
定期健康診断受診率 (%)		—	97.6	99.0	98.9	99.6
任意検診実施人数 (乳がん・大腸がん検診) (人)		—	557	269	346	1,222
定期健康診断所見率 (%)		—	40.1	39.0	28.0	27.5
生活習慣病発生状況・特定検診受診率 (%)		—	95.0	93.2	98	98
生活習慣病発生状況・特定保健指導率 (積極的支援) (%)		—	30	39	35	34
生活習慣病発生状況・生活習慣病医療 費 (健保被扶養者含む) (百万円)		—	130	133	143	139
ストレスチェック実施回答率 (%)	従業員サーベイ実施会社全体	—	94.0	94.0	96.001	94.80
ストレスチェックスコア (偏差値)	従業員サーベイ実施会社全体	—	54	54	54	54
メンタルヘルス不調者数 (高ストレス者割合) (%)	従業員サーベイ実施会社全体	—	4.2	4.9	4.9	5.5
メンタルヘルス不調による休職者数 (人)	コクヨ(株)(旧KET含)、(株)カウネット、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)、コヨマーケティング(株)	—	13	15	11	10
その他疾病による休職者数 (人)	コクヨ(株)(旧KET含)、(株)カウネット、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)、コヨマーケティング(株)	—	4	5	6	11
メンタルヘルス不調による退職者数 (人)	コクヨ(株)(旧KET含)、(株)カウネット、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)、コヨマーケティング(株)	—	5	6	8	3
その他疾病による退職者数 (人)	コクヨ(株)(旧KET含)、(株)カウネット、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)、コヨマーケティング(株)	—	0	3	5	6
従業員エンゲージメントスコア (人)	従業員サーベイ実施会社全体	—	49	49	49	49



## 労働安全衛生

対象：コクヨ（株）三重工場・芝山工場、（株）コクヨ工業滋賀、（株）コクヨMVP、石見紙工業（株）

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
労働災害発生件数（件）	<b>連結生産工場</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>2</b>
	三重工場	6	2	1	2	1
	芝山工場	0	1	0	0	0
	コクヨ工業滋賀	4	0	0	0	0
	コクヨMVP	1	1	1	3	1
	石見紙工業	0	0	0	0	0
労働災害度数率（%） <sup>※1</sup>	<b>連結生産工場</b>	<b>5.04</b>	<b>1.87</b>	<b>0.87</b>	<b>2.10</b>	<b>0.85</b>
	三重工場	9.94	3.27	1.56	2.82	1.37
	芝山工場	0	1.78	0	0	0
	コクヨ工業滋賀	9.44	0	0	0	0
	コクヨMVP	2.13	2.14	2.02	5.90	2.16
	石見紙工業	0	0	0	0	0
労働災害強度率（%） <sup>※2 ※3</sup>	<b>連結生産工場</b>	<b>0.00</b>	<b>0.01</b>	<b>0.01</b>	<b>0.14</b>	<b>0.05</b>
	三重工場	0	0.02	0.02	0.20	0.15
	芝山工場	0	0	0	0	0
	コクヨ工業滋賀	0.01	0	0	0	0
	コクヨMVP	0.01	0.00	0.00	0.39	0
	石見紙工業	0	0	0	0	0
労働災害休業日数（日）	<b>連結生産工場</b>	<b>7</b>	<b>20</b>	<b>15</b>	<b>415</b>	<b>132</b>
	三重工場	0	16	14	173	130
	芝山工場	0	3	0	0	0
	コクヨ工業滋賀	4	0	0	0	0
	コクヨMVP	3	1	1	242	2
	石見紙工業	0	0	0	0	0

※ 2016年から労働災害発生件数は、休業災害（休業1日以上、通勤災害を除く）に限定して計算（2014、2015年は不休災害を含む）

$$\text{※1 労働災害度数率} = \frac{\text{休業災害被災者数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000,000$$

$$\text{※2 労働災害強度率} = \frac{\text{労働損失日数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000$$

※3 労働災害率の表示方法は小数点以下第3位を四捨五入したものである。

「0」・・・労働災害による死傷者数がないもの

「0.00」・・・小数点以下第3位において四捨五入しても小数点以下第2位に満たないもの。

# 環境パフォーマンスデータ

## ■ 報告対象期間

2019年度（2019.1.1～2019.12.31）

## ■ 参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

環境省「環境会計ガイドライン（2005年版）」

GRI「サステナビリティレポーティングガイドライン」

## ■ 報告対象組織

2012年度から対象範囲をすべての連結子会社にまで広げました。

	連結会社	関連会社
国内	コクヨ株式会社	コクヨKハート、ハートランド、石見紙工業、コクヨ北海道販売、コクヨ東北販売、コクヨ北関東販売、コクヨ東海販売、コクヨ北陸新潟販売、コクヨ山陽四国販売、
	カウネット、コクヨマーケティング、コクヨサプライロジスティクス、コクヨロジテム、コクヨ工業滋賀、コクヨMVP、LmDインターナショナル、アクタス、コクヨファイナンス、コクヨアンドパートナーズ	
海外	コクヨベトナム、コクヨ（マレーシア）、国誉（上海）企業管理有限公司、国誉商業（上海）有限公司、国誉家具（中国）有限公司、国誉装飾技術（上海）有限公司、コクヨインターナショナルアジア、コクヨインターナショナル（マレーシア）、コクヨベトナムトレーディング、コクヨカムリン	コクヨ-IK（タイランド）

報告対象範囲：コクヨ(株)と連結子会社20社、関連会社10社

コクヨエンジニアリング&テクノロジーは2019年7月にコクヨ（株）に吸収合併しましたが、開示する環境パフォーマンスデータへの影響はありません。

## 2019年度実績

環境方針	2019年度目標と結果		評価
	目標	実績	
地球温暖化防止	CO <sub>2</sub> 排出量の削減 総量削減：対前年比+0.5% (生産影響除く ▲1.9%)	▲8.2% (生産影響除く ▲2.4%)	○
	消費エネルギーの削減（原単位） 前年比：▲1.0%	売上高原単位▲2.7%	○
省資源・リサイクル	廃棄物総量に対するリサイクル率の向上 事業所：96.6%以上 施工現場：88.0%以上	事業所：96.4% 施工現場：85.2%	×
エコプロダクツの調達・開発・提供	エコバツゼロの維持	エコバツゼロが維持できている	○
情報開示・コミュニケーション	CSR報告書2020の発行	CSR報告書2020の発行	○
環境経営	ISO14001：2015年更新審査	更新審査結果 ストロングポイント：1件 グッドポイント：5件 改善指摘事項：0件 改善の機会：21件	○

※1 目標対象会社

コクヨ、カウネット、コクヨマーケティング、コクヨエンジニアリング&テクノロジー、コクヨサプライロジスティクス、コクヨロジテム、コクヨ工業滋賀、コクヨMVP、コクヨKハート、コクヨベトナム、コクヨ（マレーシア）、コクヨ-IK（タイランド）

# エコ効率指標

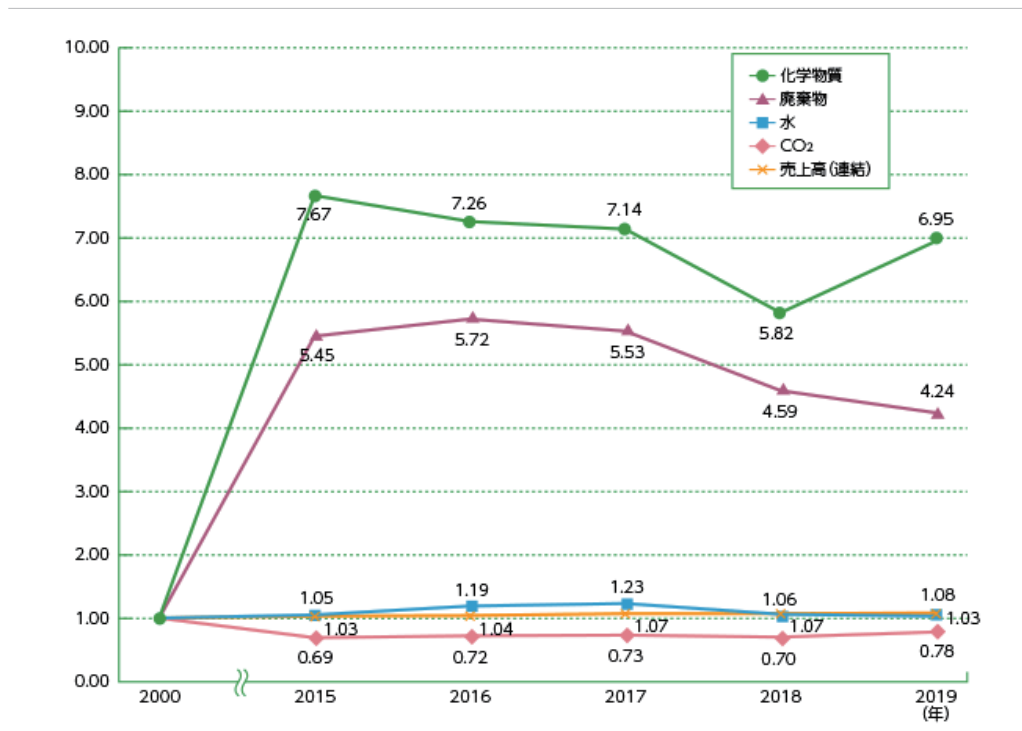
コクヨグループでは、財務業績と地球環境とともに効果を総合的に評価できる指標として、独自の「エコ効率指標」を定めています。この指標は「一定の環境負荷に対する、製品やサービスの社会への提供度合い」を示すもので、次の4項目を対象にしています。

1. CO<sub>2</sub>の排出量
2. 廃棄物の最終処分量
3. PRTR法対象化学物質の使用量
4. 水の使用量

$$\text{エコ効率指標} = \frac{\text{当年度(売上高/各環境負荷量データ)}}{\text{基準年度(売上高/各環境負荷量データ)}}$$

各指標は、2000年を基準にすることで、年ごとの進捗状況を把握できます。

エコ効率指標



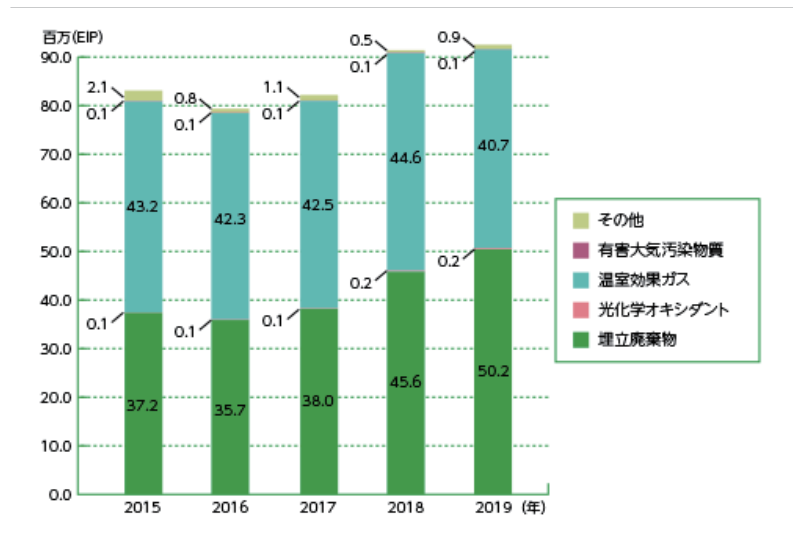
- ※ 化学物質は PRTR法の届出対象事業所が使用したPRTR法の第一種指定化学物質の取扱量により算出しています。
- ※ 第三者検証において、コクヨベトナムの廃棄物データの一部に報告算定から漏れているのご指摘がありました。2015年データからこのデータを報告に含めています。

# JEPIX

JEPIX（環境政策優先度指数日本版）とは、温室効果ガスや有害大気汚染物質など種類の異なる環境負荷の量を、環境影響ポイント（EIP）と呼ばれる単一指標として数値化する手法です。環境影響ポイントは、環境負荷物質ごとに「環境負荷量」に「日本の環境政策目標と実際の排出量比率から算出した統合化係数（エコファクター）」を掛けて、それらを合計することで算出します。

$$\text{環境影響ポイント(EIP)} = \sum (\text{環境負荷量} \times \text{エコファクター})$$

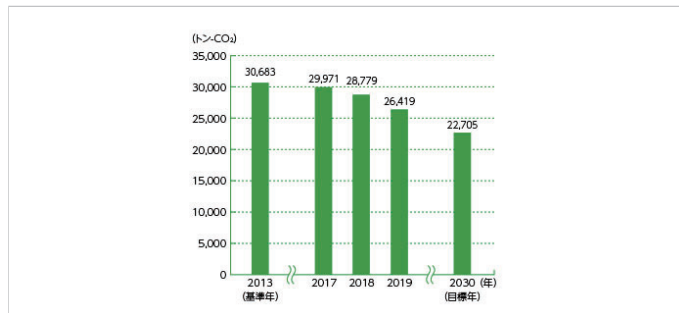
JEPIX



※ 第三者検証において、コクヨベトナムの廃棄物データの一部に報告算定から漏れているとご指摘がありました。

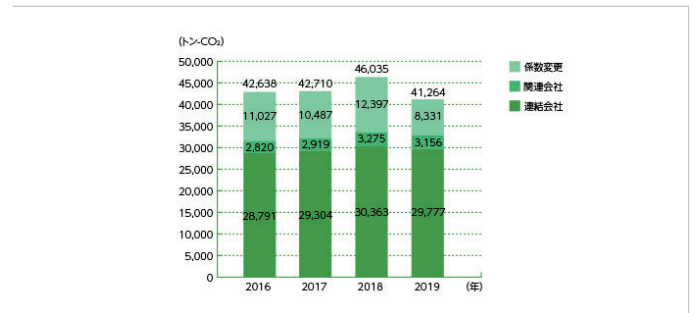
## 温暖化防止対策

CO<sub>2</sub>排出量目標に対する実績



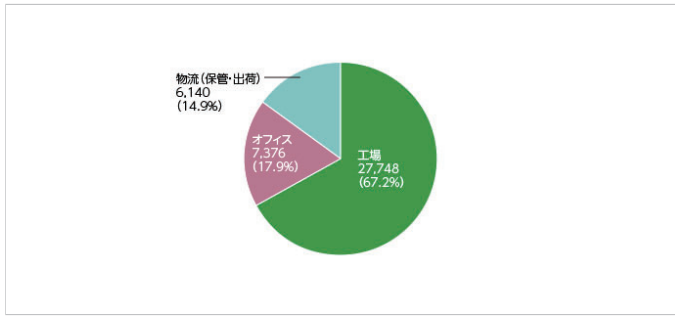
※ 電力排出係数は各年の電気事業者別の基礎排出係数により算出しています。

CO<sub>2</sub>排出量の推移



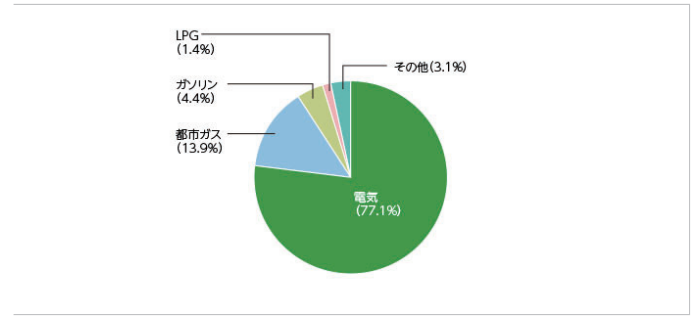
※ GHGプロトコルのスコープ2ガイダンスに準じて電気事業者別の調整後排出係数で算出しています。（マーケットベース）  
 ※ 係数変更による差異は2000年の全電源平均（0.378kg-CO<sub>2</sub>/kwh）で計算した排出量との差異です。

### CO<sub>2</sub>排出量の排出元別内訳



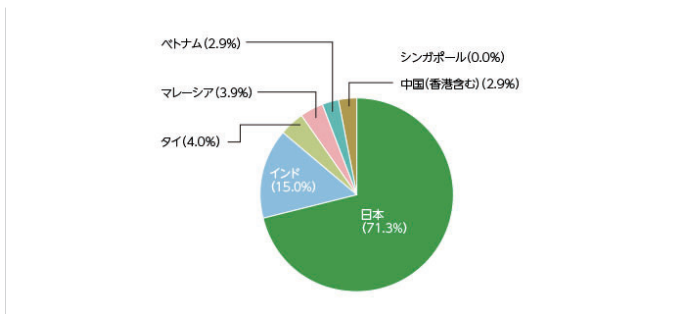
※ マーケットベース

### CO<sub>2</sub>排出量の排出源別内訳



※ マーケットベース

### CO<sub>2</sub>排出量の国別排出量



※ 各国の基準となる電力排出係数で算出しています。(ロケーションベース)

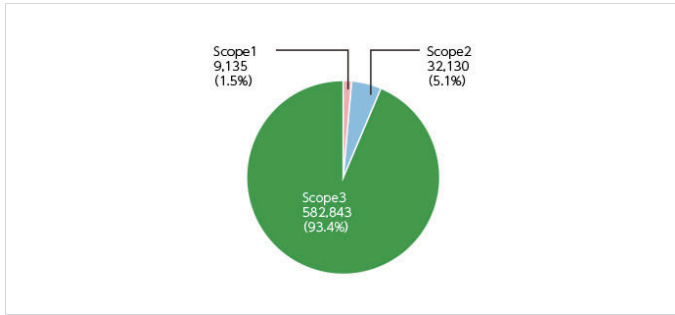
### CO<sub>2</sub>排出量の国別排出量

	CO <sub>2</sub> 排出量	構成比
日本	29,106	71.3%
インド	6,112	15.0%
タイ	1,653	4.0%
マレーシア	1,583	3.9%
ベトナム	1,183	2.9%
中国(香港含む)	1,178	2.9%
シンガポール	9	0.0%
<b>計</b>	<b>40,825</b>	<b>100.0%</b>

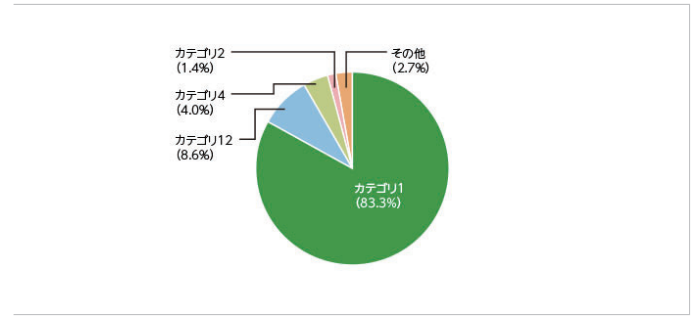
### スコープ3のカテゴリと排出量

カテゴリ	該当・非該当	非該当の理由	スコープ3排出量	内訳比率	スコープ全体
カテゴリ1	購入した製品・サービス	該当	485,785	83.3%	77.8%
カテゴリ2	資本財	該当	7,987	1.4%	1.3%
カテゴリ3	スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	該当	4,004	0.7%	0.6%
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	該当	23,232	4.0%	3.7%
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	該当	4,449	0.8%	0.7%
カテゴリ6	出張	該当	905	0.2%	0.1%
カテゴリ7	雇用者の通勤	該当	2,414	0.4%	0.4%
カテゴリ8	リース資産(上流)	非該当	-	0.0%	0.0%
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	非該当	-	0.0%	0.0%
カテゴリ10	販売した製品の加工	非該当	-	0.0%	0.0%
カテゴリ11	販売した製品の使用	該当	3,295	0.6%	0.5%
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	該当	49,842	8.6%	8.0%
カテゴリ13	リース資産(下流)	該当	931	0.2%	0.1%
カテゴリ14	フランチャイズ	非該当	-	0.0%	0.0%
カテゴリ15	投資	非該当	-	0.0%	0.0%
合計	-	-	582,843	-	-

サプライチェーン温室効果ガス排出量（スコープ別排出量）（トン-CO<sub>2</sub>）

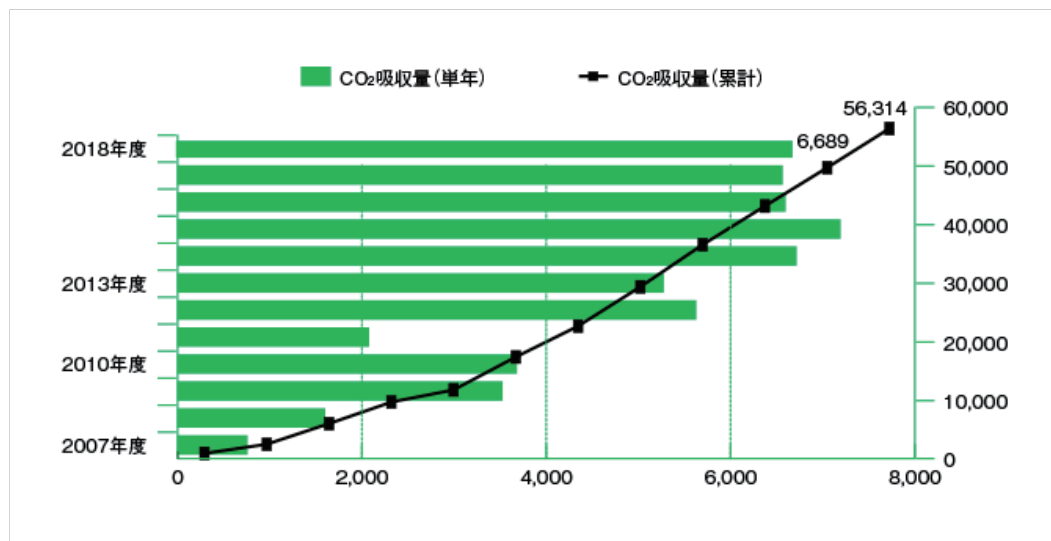


サプライチェーン温室効果ガス排出量（スコープ3排出量）



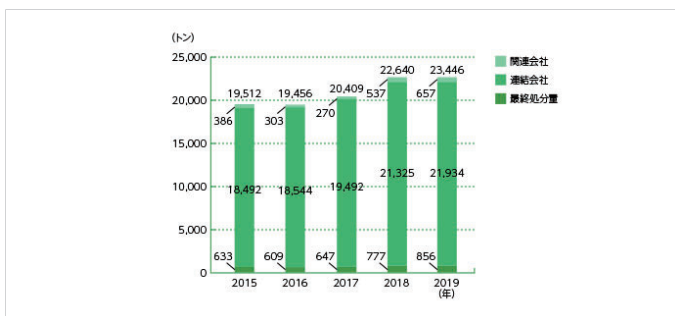
## 結の森のCO<sub>2</sub>吸収量

CO<sub>2</sub>吸収量（累計）

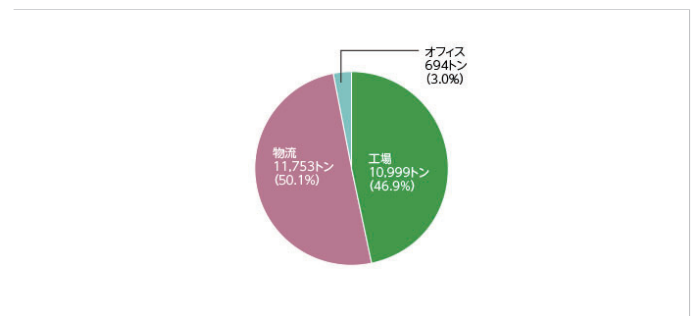


## 省資源・リサイクル対策

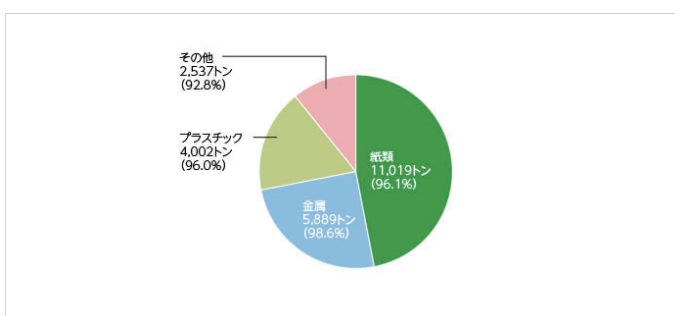
排出物のリサイクル量と最終処分量



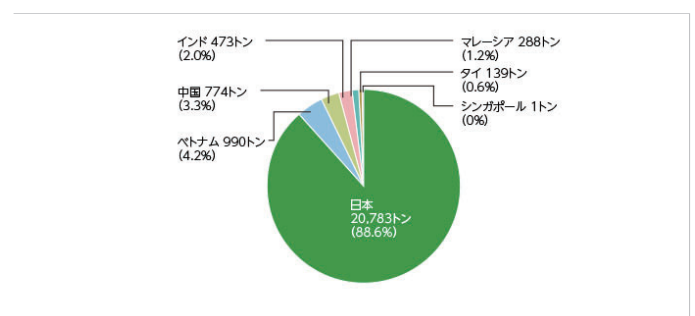
排出元別の内訳



排出物の内訳（カッコ内はリサイクル率）



国別排出量



## PRTR法対象化学物質

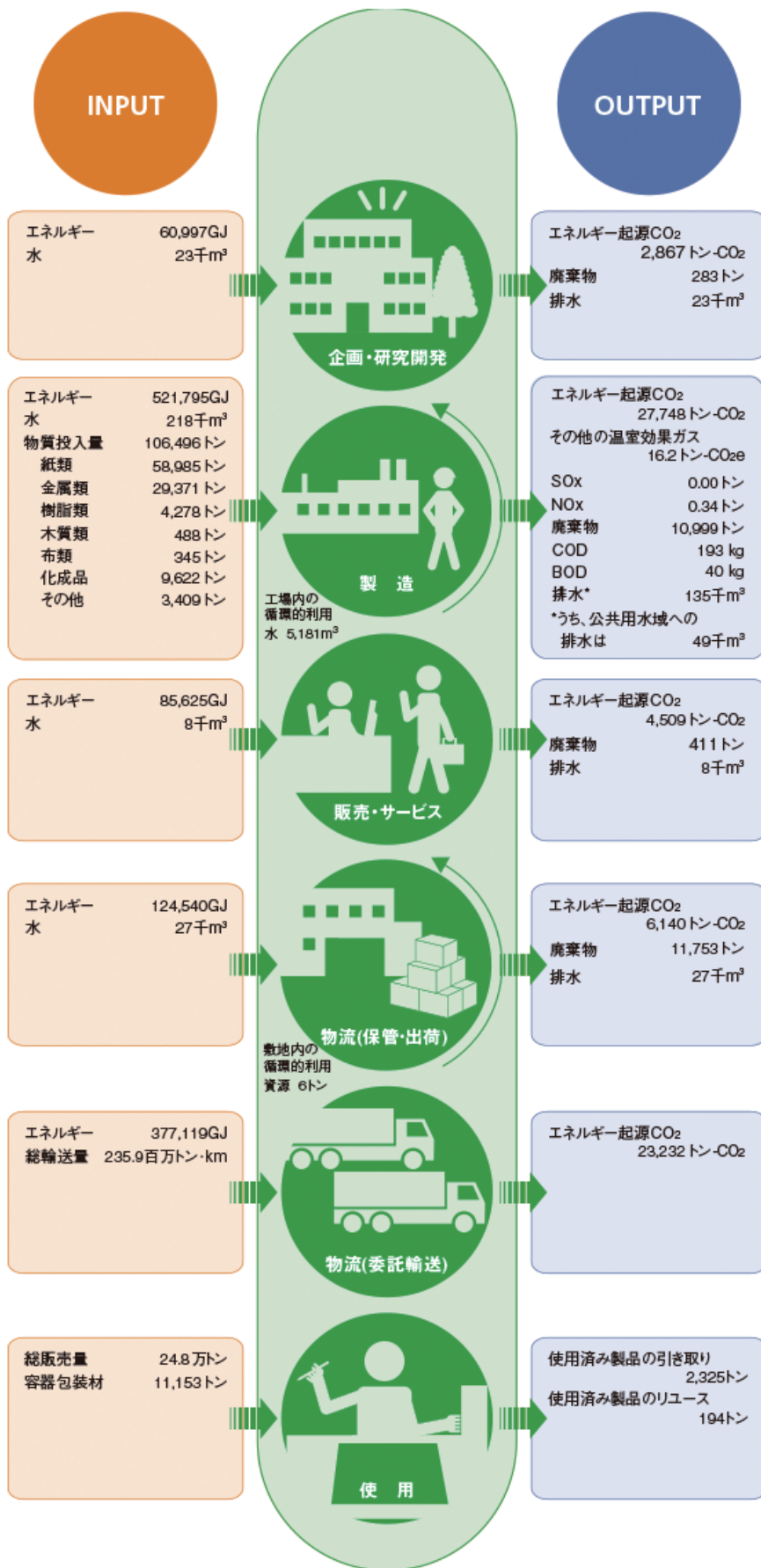
政令 番号	化学物質名	取扱量 kg	排出・移動量					除去処理 量 kg	消費量 kg
			大気排出 量 kg	公共用水 域排出量 kg	下水道移 動量 kg	廃棄物量 kg	小計 kg		
1	亜鉛の水溶性化合物	115.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	115.2	0.0
20	2-アミノエタノール	170.8	162.3	8.5	0.0	0.0	170.8	0.0	0.0
53	エチルベンゼン	9.2	9.2	0.0	0.0	0.0	9.2	0.0	0.0
57	エチレングリコールモノエチルエーテル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
71	塩化第二鉄	16,224.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16,224.0	0.0
80	キシレン	43.8	43.7	0.0	0.0	0.0	43.7	0.0	0.1
87	クロム及び三価クロム化合物	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
125	クロロベンゼン	16.0	13.0	0.0	0.2	0.2	13.5	0.0	2.6
134	酢酸ビニル	219.4	21.7	14.2	11.7	13.1	60.6	0.0	158.8
181	ジクロロベンゼン	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
235	臭素酸の水溶性塩	677.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	677.0	0.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
300	トルエン	340.8	25.4	5.4	4.7	9.7	45.2	137.0	158.6
302	ナフタレン	5.5	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	5.3
306	二アクリル酸ヘキサメチレン	342.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	342.0
309	ニッケル化合物	6.7	0.0	0.0	0.0	4.7	4.7	0.0	2.0
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	321.5	0.0	5.4	3.0	8.4	16.9	0.0	304.6
392	ノルマル-ヘキサン	7.3	4.6	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	2.7
403	ベンゾフェノン	13.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	13.0
407	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	1,189.4	0.7	0.0	0.0	159.6	160.3	568.0	461.1
410	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	15.9	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	15.6
412	マンガン及びその化合物	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	452.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	452.1
453	モリブデン及びその化合物	813.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	813.2
合計		21,003.0	300.2	33.5	19.8	196.6	550.0	17,721.2	2,731.8

※ PRTR法の届出対象事業所（国内）が使用したPRTR法第一種指定化学物質の取扱量、排出・移動量、除去処理量、リサイクル量、消費量。これらの算定は、経済産業省・環境省「PRTR 排出量等算出マニュアル第4.2版（平成30年3月）」を参照。

※ 除去処理量は、「PRTR対象物質」を場内で焼却、中和、分解、反応処理等により他物質に変化した量をいう。

※ 消費量は、「PRTR対象物質」が反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは同伴されて場外に持ち出される量をいう。

# 環境負荷マテリアルフロー





## Input項目

指標	単位	算定方法
エネルギー使用量	GJ	電力、ガス（都市ガス、LPG、天然ガス）、油（ガソリン、軽油、灯油、A重油）、熱（温水、冷水） 電力の単位発熱量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（平成20年4月1日施行）の昼間及び夜間の電力の値を採用 ガス、油及び熱の単位発熱量は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.4.4（令和元年7月）」の値を採用
水	千m <sup>3</sup>	水道水、工業用水
物質投入量	トン	ココヨ製品を製造するために使用した原材料の量
総販売量	万トン	ファニチャー製品、ステーショナリー製品のデータ
容器包装材	トン	製品の包装に使用した包装材の量

## Output項目

指標	単位	算定方法
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	トン CO <sub>2</sub>	電力、ガス、油、熱の使用によって発生する二酸化炭素排出量 → 「温暖化防止対策」参照 日本の電力のCO <sub>2</sub> 排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく係数（電気事業者ごとの平成29年度実績及び平成30年度実績による調整後係数）を採用 海外の電力のCO <sub>2</sub> 排出係数は、持続可能な発展のための世界経済人会議（WBCSD）並びに世界資源研究所（WRI）が公開しているGHGプロトコルウェブサイト内の各国ごとの係数を採用 ガス、油及び熱のCO <sub>2</sub> 排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.4.4（令和元年7月）」の値を採用 物流（委託輸送）の二酸化炭素排出量の計算には、トンキロ法と燃費法を併用
その他の温室効果ガス	トン CO <sub>2</sub> e	国内の生産に係わる非エネルギー起源の温室効果ガス（CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O）の排出量を二酸化炭素に換算した量の合計。排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.4.4（令和元年7月）」の値を採用
SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub>	トン	日本国内の生産を行っている工場のばい煙発生施設からの排出量
廃棄物	トン	廃棄物等排出量（排出物）は、事業所から排出した廃棄物量、有価物量の合計 リサイクル量は、廃棄物等排出量（排出物）のうちマテリアルリサイクルもしくはサーマルリサイクルされたものと、有価物量の合計 最終処分量は、廃棄物等排出量（排出物）のうちリサイクルの残さもしくは直接埋立された量の合計 → 「省資源・リサイクル」参照 産業廃棄物が体積で把握されている場合、環境省通知（平成18年12月27日環産廃発第061227006号）に記載されている産業廃棄物の体積から重量への換算係数（参考値）を採用
排水量	千m <sup>3</sup>	公共用水域、下水道への排水量
COD、BOD	kg	国内工場のうち、法律によって水質の測定が義務付けられている工場からの公共用水域への排出量

## その他項目

指標	単位	算定方法
総輸送量	トン・ km	委託輸送のうち、家具製品輸送及び店舗什器製品輸送、文具製品輸送、カウネットが行う通信販売による輸送及びアクトスの商品輸送の日本国内輸送データ及び海外拠点間の製品輸送、マレーシア国内の製品輸送量の合計
工場内の循環的利用水	m <sup>3</sup>	事業所内部での循環的利用量
敷地内の循環的利用資源	トン	（株）ココヨロジテムとココヨサプライロジスティクス（株）における梱包材などの事業所内部での再利用量
使用済み製品の引き取り	トン	（株）ココヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品の引き取り量
使用済み製品のリユース	トン	（株）ココヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品のうち、リユースした量

# 環境会計

## 環境会計

項目	環境投資			費用			効果			計		
	2017年	2018年	2019年	2017年	2018年	2019年	2017年	2018年	2019年	2017年	2018年	2019年
公害防止	0	0	0	3,352	2,095	5,549	0	0	0	3,352	2,095	5,549
温暖化防止	0	2,784	6,477	1,740	2,875	11,642	▲110	▲2,472	▲2,052	1,630	403	9,589
省資源・リサイクル	0	0	0	31,339	34,235	34,826	▲18,055	▲29,254	▲19,359	13,284	4,981	15,466
エコプロダクツの調達・提供	0	0	0	8,663	8,684	4,016	0	0	0	8,663	8,684	4,016
環境技術の調査研究	0	0	0	2,190	26	167	0	0	0	2,190	26	167
環境コミュニケーション	0	0	0	1,445	1,793	1,836	0	0	0	1,445	1,793	1,836
マネジメント体制構築	0	0	0	3,605	4,904	6,551	0	0	0	3,605	4,904	6,551
環境損傷対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2,784	6,477	52,334	54,613	64,586	▲18,165	▲31,726	▲21,412	34,169	22,887	43,175

## 効果内訳

項目	対策内容	2017年	2018年	2019年
温暖化防止	省エネ設備の導入効果	▲110	▲1,344	▲1,043
	太陽光発電による効果		▲990	▲980
	運用改善による効果		▲138	▲29
省資源・リサイクル	分別・リサイクルにより得られた収入	▲18,055	▲29,254	▲19,318
	リサイクル促進によるコスト削減			▲41
計		▲18,165	▲31,726	▲21,412

# ISO14001認証対象サイト

No.	事業会社名	サイト名	
1	コクヨ	本社（XT・WS含む）	
2		東京品川オフィス	
3		東京品川ISSTオフィス	
4		東京霞が関オフィス	
5		大崎オフィス	
6		仙台オフィス	
7		名古屋オフィス	
8		大阪梅田オフィス	
9		福岡オフィス	
10		三重工場	
11		芝山工場	
12	コクヨKハート	本社	
13	コクヨMVP	鳥取工場	
14		青谷工場	
15	コクヨ工業滋賀	本社	
16	コクヨロジテム	本社	
17		仙台配送センター	
18		群馬配送センター	
19		首都圏配送センター	
20		首都圏納品センター	
21		新千葉配送センター	
22		滋賀配送センター	
23		三重配送センター	
24		伊那配送センター	
25		中部配送センター	
26		富山配送センター	
27		藤原配送センター	
28		菰野配送センター	
29		関西配送センター	
30		岡山配送センター	
31		佐賀事業所	
32		コクヨサプライロジスティクス	本社
33			茨城配送センター
34	首都圏IDC		
35	九州IDC		
36	中部IDC		
37	滋賀NDC		
38	近畿IDC		
39	大阪南港配送センター		

No.	事業会社名	サイト名
40	カウネット	本社
41		札幌物流センター
42		東日本物流センター
43		中日本物流センター
44		西日本物流センター
45		福岡物流センター
46	コクヨマーケティング	本社
47		立川オフィス
48		千葉オフィス
49		埼玉オフィス
50		横浜オフィス
51		長野オフィス
52		松本オフィス
53		名古屋オフィス
54		静岡オフィス
55		梅田オフィス
56		京都オフィス
57		神戸オフィス
58		和歌山オフィス
59		広島オフィス
60		山口オフィス
61		松江オフィス
62		福岡オフィス
63		長崎オフィス
64	宮崎オフィス	
65	鹿児島オフィス	
66	熊本オフィス	
67	大分オフィス	
68	沖縄オフィス	
69	コクヨ（マレーシア）	本社
70	コクヨ-IKタイランド	本社
71	コクヨカムリン	パタルガンガ工場
72		タラプール工場
73		サンバ工場
74	国誉商業（上海）	本社
75		上海工場
76		北京オフィス
77		深圳オフィス

# 拠点別レポート

コクヨでは国内外の主要なサイトについて、事業活動が環境に与える負荷を把握し、対策の検討や目標の設定などに活用しています。

## 国内拠点レポート

国内では7カ所の工場について開示しています。

- ※ 各表の中で数値が「0」の項目は「四捨五入すると0になる」ことを、また「-」で示した項目は対象がないことを意味しています。
- ※ CO<sub>2</sub>排出量は電力を電気事業者別の基礎排出係数を適用し算出しています。
- ※ 廃棄物は工場から排出される一般廃棄物・産業廃棄物と有価物の合計を掲載しています。
- ※ 排水に関しては法規制上、測定を要するサイトのみを掲載するとしていますが、工業滋賀では2007年にpHの異常値が計測されたため自主的に計測し掲載しています。

コクヨファニチャー（三重工場）

コクヨファニチャー（芝山工場）

コクヨ工業滋賀

コクヨMVP（鳥取工場）

コクヨMVP（青谷工場）

石見紙工業（本社工場）

石見紙工業（阿東工場）

## 海外拠点レポート

タイ、マレーシア、ベトナム、中国、インド（5工場）の9工場について開示しています。

2016年は生産増により、マレーシア及びインドでCO<sub>2</sub>排出量が増加しています。

- ※ CO<sub>2</sub>排出量は国別の排出係数を適用し算出しています。

コクヨ-IK（タイランド）

コクヨ（マレーシア）

コクヨベトナム

国営商業（上海）有限公司 上海工場

コクヨカムリン（インド：タラプール工場）

コクヨカムリン（インド：タロージャ工場）

コクヨカムリン（インド：サンバ工場）

コクヨカムリン（インド：ジャムー工場）

コクヨカムリン（インド：パタルガンガ工場）

# コクヨ（三重工場）

所在地	三重県名張市西田原2012番地
主要製品	スチールデスク、ローパーテーションなど
操業開始	1993年5月
敷地面積	145,977m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	99,464	113,465	115,536
	燃料	36,972	44,272	45,574
	電気	62,493	69,193	69,962
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	37,345	44,200	62,624
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	5,051	5,953	5,567
	SO <sub>x</sub>	0.01	0.03	0
	NO <sub>x</sub>	0.15	0.48	0.34
廃棄物 (t)	総排出量	1,321	1,386	1,568
	再生利用・熱回収	1,321	1,385	1,565
	最終処分	1	1	4
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	34,091	34,971	37,361
	公共水域への排出	34,091	34,971	37,361
	下水道への排出	-	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.2~7.7	6.6~7.9	7.0~7.6
	COD (mg/L)	22	20	10
	BOD (mg/L)	9	2	3
	SS (mg/L)	7.0	10.0	2.0

[拠点別レポート トップページ](#) >

# コクヨ（芝山工場）

所在地	千葉県山武郡芝山町大台3155番4号
主要製品	間仕切り、ローパーテーション、収納家具など
操業開始	1994年6月
敷地面積	73,734m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	123,128	120,215	119,547
	燃料	63,116	61,358	61,296
	電気	60,011	58,857	58,251
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	15,746	15,011	15,593
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	6,135	5,920	5,838
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	2,647	2,694	2,455
	再生利用・熱回収	2,647	2,694	2,455
	最終処分	0	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	10,537	9,879	10,462
	公共水域への排出	5,093	4,285	4,787
	下水道への排出	5,444	5,594	5,675
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.0	7.2/6.9	7.4/6.9
	COD (mg/L)	3.7	2.2	4.6
	BOD (mg/L)	1.0	2.0	0.8
	SS (mg/L)	10.9	2.6	8.8

[拠点別レポート トップページ](#) >

# コクヨ工業滋賀

所在地	滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312番地
主要製品	ノート、PPC用紙、複写簿、ルーズリーフなど
操業開始	1980年10月
敷地面積	114,294m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	61,706	60,413	57,477
	燃料	1,222	1,258	1,129
	電気	60,483	59,154	56,348
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	6,330	6,869	6,123
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	3,164	2,788	2,196
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	2,536	2,549	2,436
	再生利用・熱回収	2,536	2,549	2,436
	最終処分	0	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	6,267	6,819	6,076
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	6,267	6,819	6,076
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	6.6~9.0	7.0~8.2	7.1~9.3
	COD (mg/L)	3.3	8.2	12.0
	BOD (mg/L)	7.2	7.4	6.0
	SS (mg/L)	11	3.4	5.8

[拠点別レポート トップページ >](#)

# コクヨMVP（鳥取工場）

所在地	鳥取県鳥取市湖山町南2丁目201番地
主要製品	カスタムステーショナリー
操業開始	2007年9月（前身のコクヨ事務用品工業は、1962年12月に操業開始）
敷地面積	38,389m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー（GJ）	エネルギー投入量	17,530	16,949	15,959
	燃料	1,243	958	952
	電気	16,287	15,991	15,007
水資源（m <sup>3</sup> ）	水道水	7,113	8,331	10,500
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出（t）	CO <sub>2</sub>	1,216	1,150	1,018
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物（t）	総排出量	938	943	946
	再生利用・熱回収	925	928	932
	最終処分	13	15	14
水域への排出（m <sup>3</sup> ）	排水量	7,113	8,331	10,500
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	7,113	8,331	10,500
水域への排水規制項目	水素イオン濃度（PH）	法規制対象外	法規制対象外	法規制対象外
	COD（mg/L）	同上	同上	同上
	BOD（mg/L）	同上	同上	同上
	SS（mg/L）	同上	同上	同上

[拠点別レポート トップページ](#) >



# コクヨMVP（青谷工場）

所在地	鳥取県鳥取市青谷町青谷1114番
主要製品	カスタムステーションナリー
操業開始	2007年9月（前身のコクヨ事務用品工業株式会社 青谷工場は、2000年4月に操業開始）
敷地面積	34,607m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	13,938	14,324	12,898
	燃料	858	1,694	882
	電気	13,081	12,630	12,016
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	4,282	4,696	4,755
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	960	957	813
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	440	428	399
	再生利用・熱回収	440	428	399
	最終処分	0	0	1
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	4,282	4,696	4,755
	公共水域への排出	4,282	4,696	4,755
	下水道への排出	-	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	法規制対象外	法規制対象外	法規制対象外
	COD (mg/L)	同上	同上	同上
	BOD (mg/L)	同上	同上	同上
	SS (mg/L)	同上	同上	同上

[拠点別レポート トップページ >](#)

# 石見紙工業（本社工場）

所在地	島根県鹿足郡津和野町後田イ378番地
主要製品	便箋、領収書、単語カード、メモ用紙など
操業開始	1918年10月
敷地面積	5,382m <sup>2</sup>



インプット		2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	3,096	3,359
	燃料	489	482
	電気	2,607	2,877
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	467	524
アウトプット		2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	200	202
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	58	113
	再生利用・熱回収	58	112
	最終処分	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	467	524
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	467	524
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	6.3~7.5	6.4~8.0
	COD (mg/L)	法規制対象外	法規制対象外
	BOD (mg/L)	同上	同上
	SS (mg/L)	同上	同上

[拠点別レポート トップページ >](#)

## 石見紙工業（阿東工場）

所在地	山口県山口市阿東徳佐586番地3
主要製品	履歴書、原稿用紙、伝票、レポート用紙など
操業開始	1991年4月
敷地面積	28,297m <sup>2</sup>



インプット		2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	7,580	7,707
	燃料	486	263
	電気	7,093	7,444
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	845	664
アウトプット		2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	361	158
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	146	297
	再生利用・熱回収	146	297
	最終処分	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	845	664
	公共水域への排出	845	664
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.2~7.6	6.9~7.4
	COD (mg/L)	法規制対象外	法規制対象外
	BOD (mg/L)	同上	同上
	SS (mg/L)	同上	同上

[拠点別レポート トップページ](#) >

## コクヨ-IK (タイランド)

所在地	529 Moo 4 Bangpoo Industrial Estate Soi 8C, T.Paksa, A.Muang, Samutprakam 10280, Thailand
主要製品	クリアーブック、PPファイル、テープのりなど
操業開始	1996年12月
敷地面積	12,679m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	35,765	35,574	34,666
	燃料	594	529	481
	電気	35,171	35,044	34,184
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	18,411	16,857	18,545
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	1,803	1,792	1,653
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	157	218	139
	再生利用・熱回収	128	185	106
	最終処分	30	33	33
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	14,726	13,488	14,836
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	14,726	13,488	14,836
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.2	6.9	7.1
	COD (mg/L)	105.5	189	252.2
	BOD (mg/L)	22.1	59.5	15.0
	SS (mg/L)	40.5	48.5	8.8

[拠点別レポート トップページ](#) >

# コクヨ（マレーシア）

所在地	Lot 79 & 83, Persiaran Bunga Tanjung 1, Senawang Industrial Park, 70400 Seremban, Negeri Sembilan Darul Khusus, Malaysia
主要製品	スチールデスク、ローパーテーション、収納家具など
操業開始	1999年10月
敷地面積	58,000m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	25,300	25,531	24,194
	燃料	7,948	8,186	8,186
	電気	17,352	17,345	16,008
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	12,852	14,067	16,470
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	1,591	1,604	1,479
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	287	342	288
	再生利用・熱回収	233	244	237
	最終処分	54	97	51
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	2,539	2,548	2,562
	公共水域への排出	1,173	1,061	1,090
	下水道への排出	1,366	1,487	1,472
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.8	7.7	7.5
	COD (mg/L)	32.7	24.3	22.7
	BOD (mg/L)	8.7	7.6	7.3
	SS (mg/L)	8.9	8.6	12.9

[拠点別レポート トップページ >](#)

# コクヨベトナム

所在地	Land Plot B2-B7, Nomura-Haiphong IZ, An Duong Dist., Haiphong City, Vietnam
主要製品	ノート、フラットファイル、厚表紙ファイル、タックラベルなど
操業開始	2006年11月
敷地面積	51,544m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	33,452	31,292	32,320
	燃料	581	574	559
	電気	32,872	30,718	31,761
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	9,699	10,339	11,731
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	1,192	1,116	1,181
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	1,217	1,034	990
	再生利用・熱回収	975	827	616
	最終処分	242	206	374
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	7,759	8,271	9,397
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	7,759	8,271	9,397
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.3	7.0	7.3
	COD (mg/L)	183.5	135.73	131.3
	BOD (mg/L)	121.5	68.2	52.475
	SS (mg/L)	83	80.13	88.15

[拠点別レポート トップページ](#) >

# 国誉商業（上海）有限公司 上海工場

所在地	上海市奉賢区人傑路128号
主要製品	無線綴ノート、スパイラルノート、ツインリングノート、レポートパッド他
操業開始	2012年8月
敷地面積	27,457.7m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	11,049	10,677	11,009
	燃料	554	523	669
	電気	10,494	10,153	10,340
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	1,457	2,742	1,975
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	810	783	691
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	584	564	774
	再生利用・熱回収	542	519	737
	最終処分	42	45	37
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	1,311	1,893	1,778
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	1,311	1,893	1,778
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	測定対象外	測定対象外	測定対象外
	COD (mg/L)	同上	同上	同上
	BOD (mg/L)	同上	同上	同上
	SS (mg/L)	同上	同上	同上

[拠点別レポート トップページ >](#)

## コクヨカムリン（インド：タラプール工場）

所在地	MIDC Tarapur, Tal- Palghar, Dist- Thane, Pin- 401506
主要製品	絵の具、ポスターカラー、クレヨン、シャープペンシル芯など
操業開始	1974年4月
敷地面積	10,045m <sup>2</sup>



インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	35,651	40,810	37,657
	燃料	1,202	745	903
	電気	34,450	40,065	36,754
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	23,058	31,589	25,158
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	3,279	3,769	2,706
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	87.0	104.4	138.5
	再生利用・熱回収	84.5	104.4	138.5
	最終処分	2.5	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	9,620	31,589	25,158
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	9,620	31,589	25,158
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	6.6	8.2	7.13
	COD (mg/L)	87.0	12.0	43.0
	BOD (mg/L)	15.0	3.0	10.0
	SS (mg/L)	13.0	10.0	16.0

[拠点別レポート トップページ](#) >



## コクヨカムリン（インド：タロージャ工場）

所在地	M.I.D.C Taloja Navi Mumbai - 410 208
主要製品	インク、スティックのりなど
操業開始	1996年4月
敷地面積	3,801m <sup>2</sup>

インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	2,580	3,085	2,554
	燃料	120	1,289	1,240
	電気	2,460	1,796	1,314
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	9,376	7,628	6,140
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	237	255	180
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	0	52.6	28.3
	再生利用・熱回収	0	52.6	28.3
	最終処分	0	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	9,376	7,628	6,140
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	9,376	7,628	6,140
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.4	7.1	7.1
	COD (mg/L)	76.0	40.0	40.0
	BOD (mg/L)	25.0	14.0	14.0
	SS (mg/L)	13.0	5.0	5.0

[拠点別レポート トップページ](#) >

## コクヨカムリン（インド：サンバ工場）

所在地	LANE NO. 9, SIDCO, PHASE - 1 I.G.C., SAMBA- 184 121
主要製品	絵の具
操業開始	2008年1月
敷地面積	10,040m <sup>2</sup>

インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	12,120	10,489	9,512
	燃料	1,584	1,118	1,013
	電気	10,536	9,371	8,499
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	4,594	3,288	3,870
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	1,087	947	681
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	94.4	111.1	86.9
	再生利用・熱回収	94.4	104.6	86.9
	最終処分	0	6.5	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	4,594	3,288	3,870
	公共水域への排出	-	-	-
	下水道への排出	4,594	3,288	3,870
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.3	7.4	7.2
	COD (mg/L)	113.0	144.0	69.0
	BOD (mg/L)	18.0	18.0	16.0
	SS (mg/L)	22.0	84.1	19.0

[拠点別レポート トップページ >](#)

## コクヨカムリン（インド：ジャムナー工場）

所在地	101, Gangyal Industrial Area Phase II Jammu - 180 004
主要製品	絵の具
操業開始	2012年4月
敷地面積	-

インプット		2017年	2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	6,264	5,212	817
	燃料	187	187	34
	電気	6,077	5,026	783
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	3,000	3,000	429
アウトプット		2017年	2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	577	480	59
	SO <sub>x</sub>	-	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	13.3	17.3	0.6
	再生利用・熱回収	13.3	17.3	0.6
	最終処分	0	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	3,000	3,000	429
	公共水域への排出	3,000	3,000	429
	下水道への排出	-	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	法規制対象外	法規制対象外	法規制対象外
	COD (mg/L)	同上	同上	同上
	BOD (mg/L)	同上	同上	同上
	SS (mg/L)	同上	同上	同上

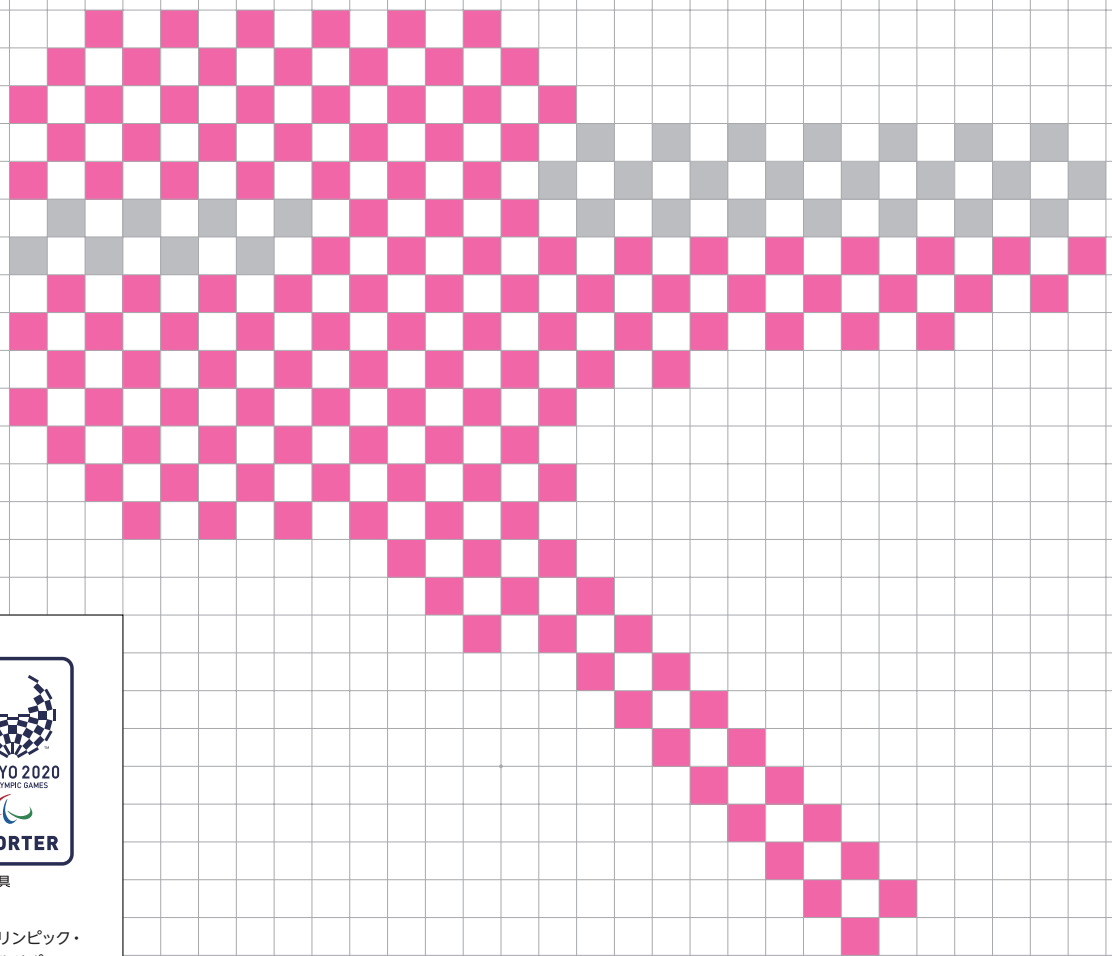
[拠点別レポート トップページ](#) >

## コクヨカムリン（インド：パタルガンガ工場）

所在地	MIDC, Village-Chavane, Taluka-Panvel, Dist-Raigad-410 220, Maharashtra, India
主要製品	Writing instrument (Marker, pencil pen, correction pen, Gel pen, sketch pen) Ink, crayonなど
操業開始	2017年4月
敷地面積	56,000m <sup>2</sup>

インプット		2018年	2019年
エネルギー (GJ)	エネルギー投入量	26,630	30,787
	燃料	2,084	2,360
	電気	24,546	28,427
水資源 (m <sup>3</sup> )	水道水	27,963	29,726
アウトプット		2018年	2019年
大気への排出 (t)	CO <sub>2</sub>	2,422	2,209
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物 (t)	総排出量	277.7	218.2
	再生利用・熱回収	277.7	218.2
	最終処分	0	0
水域への排出 (m <sup>3</sup> )	排水量	0	0
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度 (PH)	7.3	7.2
	COD (mg/L)	8.0	81.6
	BOD (mg/L)	3.0	20.0
	SS (mg/L)	22.0	65.0

[拠点別レポート トップページ >](#)



オフィス家具 & 文具

コクヨは、東京2020オリンピック・  
パラリンピックオフィシャルサポーター  
(オフィス家具 & 文具)として、  
大会の成功に貢献してまいります。

**KOKUYO**